

Title	編輯後記 三田史學會規約 前号目次
Sub Title	
Author	河北, 展生(Kawakita, Nobuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1950
Jtitle	史学 Vol.24, No.2/3 (1950. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0274">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19501000-0274</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編輯後記

昭和二十五年は、福澤諭吉先生の五十年忌に當り、全國各地に於て盛大活潑なる諸種の記念業事が行はれた。丁度本年一月、福澤家より一千數百點に及ぶ新資料が、慶應義塾に寄贈された。この資料は、獨り福澤研究の爲のみならず、日本近世史研究の上からも、注目される所である事は言を俟たない。かつて昭和九年、福澤諭吉生誕百年記念として、福澤特輯號を刊行した本會に於ては、再びこの新資料を中心に、福澤研究の新分野開拓の成果を以て、福澤諭吉五十年忌記念特輯號を刊行し、學界の輿望に應へると共に、福澤諭吉先生の五十年忌を永久に記念せんとするものである。

この新舊二特輯號間に於ける十六年の歳月に、福澤研究の進歩の如何に著しきものが存したかは、兩號を對比されば自から明らかなるがあらう。寄稿者各位は、福澤研究の新分野開拓に専心され、各専門分野よりその蘊蓄を傾けられた。其間意外の

時日を費し、第二十四卷第一號との間に約一年近い空白を作り讀者諸賢に多大の迷惑を掛けたことは誠に遺憾であるが、此處に愈々倍大號としてその成果を集め、ほゞ所期の目的を達し得たことを以て、幾分の寛恕を請ふ次第である。

猶本編輯に當り、前塾長小泉信三博士と高橋誠一郎名譽教授の兩氏は、公務その他の事情に依り、原稿を頂戴出来なかつた事は誠に残念であつたが、特に小泉博士には、慶應義塾外の福澤研究家への懇切なる紹介状を與へられた。本號が幾分の光彩を備へることができたのは、各執筆者の援助に依るは勿論ながら、亦小泉、高橋兩氏の厚意に依ること多大なるものがあつた。特に本誌の編輯について昆野和七氏より種々の援助を忝くした事と共に、記して此處に深甚の謝意を表するものである。

本號所收の吉田・富田・昆野三氏及び河北の研究は、文部省科學研究補助に依る昭和二十四年度報告であることを茲に附記して置く。

(河北展生)

## 三田史學會規約

- 一、歴史學に興味と關心を有し通信用として會費年額金五十圓也を納入された方を正會員とします。
- 二、會員は、本會發行の機關雜誌「史學」(年四回刊行)を購讀し、其の他本會發行の各種の出版物を定價の一割引で、優先的に購入することができます。
- 三、會員には、本會の主催する各種の講演會や展覽會などその都度御案内します。

## 前號目次

- 一七八九年の革命……………ルフェーヴル  
(解説 鈴木泰平)
- 國史に於ける變革とその主導者……………松本芳夫
- 古代日本人の世界觀についての一考察……………淺子勝二郎
- 新プラトンの「流出説」の一問題……………神山四郎
- オストラキスマスの時代的考察……………森岡敬一郎
- 彌生式土器と朝鮮の土器……………藤田亮策
- 海外史壇紹介……………三田史學會彙報